NPO法人 報徳食品支援センター

報徳@なう

発行人：本岡俊郎

冷凍アジフライの普及活動

昨年の秋から冷凍されたアジのフライやハンバーグなどを子ども食堂で使ってもらうように努力をしてきました。スーパーの総菜売り場で売られているアジフライや串カツなどを油で揚げる前の状態で毎月入手できるようになったのがきっかけです。

料理の添え物ではなくて、主菜となります。提供しているアジフライは、衣付きで細かい骨まで取り除いてあるので小さい子供達も安心して食べられます。まず平塚のひまわり子ども食堂さんで使っていただきましたが、美味しくてお代わりする子が何人もいて、中には「お母さんにも食べてもらいたいから、もう一つください」という子までいたそうです。しかし課題もあります。子ども食堂の場所は、公民館などを借りているので、冷凍食品を保存できない。調理場が狭いので揚げ物を一度に大量にできない等々です。

毎月入手できる量が多くて、使ってもらえる量がまだまだ少ない。余らすと預けている冷凍倉庫の保管料がかさみます。特にこの二月は提供していただいている商社の決算月で、在庫を引き受ける協力をしたのでたくさんの数を抱えました。

幸いな事に、農水省のフードバンクのための助成金で配送費が賄える事を知ったので、これまで案内出来なかった神奈川県下の川崎市や湘南一帯の子ども食堂でお試しに使ってもらうキャンペーンをしています。先行して使っていただいている子ども食堂で開発したメニュー集も紹介しています。この三月末までの期間で、新たに二十カ所くらいで使ってもらえそうです。三月以降は、助成金が出なくても、大きいアジフライが百枚入った一箱分の送料が千八百円ほどですから、引き続き使ってくださるところもあるでしょう。

食品ロス削減のためには、このように智恵を出して手間暇をかける事も必要なのです。単に、もらった食品を配るだけがフードバンクの仕事ではありません。

新たにアジフライをご提供した湘南方面のフードバンクさんからいただいた便りをご紹介させていただきます。

「この度は、おいしい鯵フライをいただきありがとうございました。利用者にお渡しする前に味見を昨夜いたしました。衣はカリカリでお魚は肉厚で味はとっても良い塩梅の冷凍食品です。最高に喜ばれると思います。利用者を代表してお礼を申し上げます。貴団体のような中間支援団体がある事で、私達のパントリー及び子ども食堂は、毎日の暮らしに困窮されている方に喜びをお渡しさせていただいているのです。」



ひまわり子ども食堂のアジフライ



冷凍のアジ

報徳食品支援センター　〒250-0212 小田原市西大友136－1　℡070-1432-9559　houtoku.foodbank@gmail.com

ポテトチップス

三月初めにたくさんのポテトチップスをカルビー株式会社さんからいただきました。賞味期限が今年四月でしたから早く配ってしまわなければなりません。通常お配りしている先だけでは配り切れない事がわかったので、小田原市社会福祉協議会さんの協力を得て、サッカー、ラグビー、柔道、剣道、水泳、相撲などのスポーツをしている子ども達にもくばることにしました。ちょうど春休みが始まり、いろいろな行事もあったので、とても喜んでもらいました。通常お配りしている先も含めて四十一カ所に配りました。

指導者の方には、賞味期限が迫っている理由を説明しましたが、何の問題もありませんでした。食品ロス削減に協力していただきありがとうございました。（写真　柔道をしている子供たち）



「ニコニコにじの会」の香川様よりお礼の言葉をいただきました。

「子ども達へお菓子のご寄付をいただき、参加されたご家庭に配らせて頂きました。皆さん、喜んでいました。ありがとうございました。」

高齢者に食品を配る難しさ

昨年来の物価上昇で、少ない年金で暮らす高齢者の生活は苦しくなっています。少しでも楽をしていただきたいと取り組んでいますが、なかなか配る先を拡げる事がむずかしいです。

これまでの体験で感じる事は、高齢者の多くの方は「質素に暮らしているけれど、貧しくはない。」というしっかりとした考えを持っておられることです。わざわざフードバンクでもらうことまではしたくない。また、地域で高齢者を見守っておられる自治会や民生委員さんの高齢化も進み、積極的な活動ができなくなっている背景もあるようです。

そして、高齢者の暮らしを支える行政からの支援もほとんどないのです。日本の未来を支える子ども達には、様々な助成金が出てきていますが、今のこの日本を作り上げてきた高齢者への「感謝の気持ちがこもった」配慮があって然るべきだと思います。

高齢の方達への支援は、フードバンク単独ではできません。地域のお年寄りを見守る方達、包括支援センターなどの担当者などとの協力があって初めて動くことができます。コツコツとひとつづつの機会を大切にして、活動を広めて行きたいと思っています。（配布会の様子　写真上　大平台　写真下　芦ノ湖　↓　箱根の各集会所）





母子会配布会の準備に立ち会って

前日にチョコレートや冷凍食品、お米の小分けをしていただいていました。当日の三月二十六日は、午前中に配布家庭ごとに分けることを、母子会ボランティアの皆さんで行いました。お子さんたちも手伝ってくれて、忙しいながらも和気あいあいとすすめていきました。それにしても、とても多い食品の量です。ミカン箱いっぱいの食品と冷凍食品、野菜、お米もおあります。受け取った皆さんの喜びの声が聞こえるようです。

編集後記

早や四月となり新年度の予算を組み立てなければなりません。昨年の今頃もそうだったのですが、まだ令和五年度で使える助成金の目途が立っていませんので、仮の予算を作ります。助成金に頼る運営から早く抜け出たいものです。